モバイル・アダプター

MTL100

取扱説明書

このたびは MTL100 をお買い求めいただきありがとうございます。

●ご使用になる前に本書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

●お読みになったあとも大切に保管してください。

株式会社 アレクソン

安全上のご注意(共通事項)

お使いになる人や他人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
本文をよくお読みいただき、内容をよくご理解のうえ正しくご使用ください。

■絵表示の説明

表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 危険:使用者が死亡または重傷を負う危険性が、切迫して生じることが想定される場合。

⚠ 警告:使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合、軽傷または物的損害(*)が発生する頻度が高い場合。

⚠ 注意:使用者が重傷を負う可能性は少ないが傷害を負う危険性が想定される場合、物的損害(*)のみの発生が想定される場合。

＊:物的損害とは、家屋家財及び家畜ペットに関わる拡大損害を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。

△ マークは、危険、警告を含む「注意」を示しています。
左図の例は、「特定しない一般的な注意、警告、危険の通告」を示しています。
⃠ マークは、してはいけない「禁止」を示しています。
左図の例は、「分解禁止」を示しています。
● マークは、必ず実行していただく「強制」や「指示」を示しています。
左図の例は、「差込プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

■輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は、日本国内仕様の製品です。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。予めご了承ください。

This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

■ご注意

(1)本書及び本製品の内容の一部または全部を無断で複写、複製することを禁じます。
(2)本書及び本製品の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書及び本製品は内容について万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら、ご連絡ください。
(4)本製品(ハードウエア、ソフトウェア及び関連文書)を運用した結果については、(3)項に関わらず責任を負いかねますので、予めご了承ください。
(5)本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電時の外部要因によって異常な動作が発生した場合や、その異常動作の発生により、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純正経済損失につきましては、いっさいその責任を負いかねます。予めご了承ください。
(6)お客様データーの損失を避けるために、システム及びデーターのバックアップを定期的にとってください。
本製品(本製品を利用するパソコン、ネットワーク環境等を含む)の運用における異常動作(5項に関連)により、いかなる種類のデーター損失または回復に関して一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
(7)設定値を保存中に停電が発生した場合など、設定データーが異常になることが有ります。
その場合、再度設定をやり直してください。

■本製品の保証について

●保証期間中は別紙保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、弊社では設置工事・出張修理は行っておりません。

●保証期間を経過後、修理によって使用できる場合には、ご要望によって有償で修理させていただきます。
ただし、補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年です。

警告

	●万一異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く 煙、変な音・においがするなど、異常状態のまま使用しないでください。火災や感電の原因となります。このような時は、すぐに電源プラグを抜きお買い上げの販売会社または弊社にお問い合わせください。
	●AC100V（50または60Hz）以外の電源電圧では使用しない 表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。特に110Vを越える電圧では製品を破壊するおそれがあり、火災の原因となりますので、絶対に接続しないでください。
	●極めて高い信頼性や安全性が必要とされる機器に接続しない 本製品は一般オフィスや家庭用OA機器と接続する用途の製品として設計されています。幹線通信機器や業務の中心となるコンピュータシステム、人命に直接関わる医療機器のような極めて高い信頼性、安全性が必要とされる機器には接続しないでください。
	●異物を入れない 本製品に金属類や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。万一、異物が入った場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。
	●分解したり改造したりしない 内部には電圧の高い部分がありますので、カバーをはずして内部の部品に触ったり、製品を改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
	●製品を落したりして破損した場合は そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。電源プラグを抜き、本製品に接続されているケーブル類をすべて抜いて、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。
	●電源コードを大切に コードに重いものを載せたり、熱器具に近づけたりしないでください。コードが損傷し火災や感電、故障の原因となります。また、コードを 加工したり無理に曲げたり引っ張ったりすることも、火災や感電の原因となるのでおやめください。コードが傷んだ場合、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。
	●ぬれた手で本製品や電源プラグにさわらない 内部に液体や可燃性の強い気体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。
	●水・薬品等の液体を機の上や近くに置いたり、使用したりしない 本製品に水などの液体が入った場合、火災，感電，故障などの原因になります。
	●ヘアースプレー等、可燃物を本製品の上や近くに置いたり、使用したりしない スイッチの火花などで引火して火災の原因になることがあります。
	●雷が鳴り出したら製品や電源プラグに触れない 感電の原因となります。状態でないと十分な効果を発揮しませんのでご注意ください。

⚠ 注意

	●本製品は日本国内でのみ使用 国外での使用は、電源電圧などの問題により本製品が故障することがあります。
	●逆さまに設置しない 本製品を逆さまに設置しないでください。布などで包んだ状態での使用もおやめください。 特に、ビニールやゴム製品が接触している状態での使用はおやめください。火災や故障の原因となることがあります。
	●花びんやコップ、植木鉢、小さな金属物などを本製品の上に置かない 内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。万一、水などが内部に入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
	●電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない 電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張って抜くと傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。
	●電源プラグとコンセントの定期点検を 電源プラグとコンセントを長時間つないだままにしていると、ほこりが溜まります。 そのままの状態で使用を続けますと、火災や感電の原因となることがあります。定期的な電源プラグとコンセントを清掃し、接触不良などを点検してください。
	●お手入れのときは 本体が汚れた場合、やわらかい布に水または中性洗剤を含ませ、よく絞ってから軽く拭いてください。 薬品類（ベンジン・シンナー等）は使わないでください。変質・変色する場合があります。 また、AC アウトレットやプラグにほこりがたまった場合、接続機器をはずし、機器を傷つけないよう軽く乾拭きしてください。いずれの場合も、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
	●本製品を長期間使用しない場合は 本製品を長期間使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。接続ケーブルを全てはずし、保管してください。

⚠ 設置環境に関する注意

	●風通しの悪いところに設置しない 製品を密閉された場所に置かないでください。 熱がこもり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。
	●温度が高くなるところに設置しない 直射日光の当たるところや熱器具の近くなど、高温になるところに置かないでください。 やけどや火災、故障の原因となることがあります。
	●湿気やほこりの多いところに設置しない 湿気やほこりの多い場所や調理台、加湿器の近くなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災や感電、故障の原因となることがあります。
	●不安定な場所やお子様の手の届くところに設置しない ぐらついた台や本製品より面積が小さいものの上や傾いた所、衝撃や振動の加わる所など、不安定な場所やお子様の手の届く所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがや故障の原因となります。
	●ラジオやテレビなどのすぐ近くに設置しない ラジオやテレビなどのすぐ近くに置きますと受信障害を与えることがあります。

目次

1. はじめに....1

1-1 本マニュアルについて....1

1-2 本製品の特長....1

1-3 製品保証及びサポートについて....2

1-4 本体各部の名称と役割....2

2. 接続構成と設定の概要（αNX-S/Mシリーズの接続例）....3

2-1 本取扱説明書の接続構成（モデル）....3

2-2 設定の概要....3

3. αNX(4BRU)の設定(参考情報)....4

3-1 4BRU へのログイン....4

3-2 PPPoE 接続の設定....4

3-3 VoIPの設定....5

3-4 電話番号の設定....5

3-5 接続状態の確認....6

4. 本製品の設定....7

4-1 本製品へのログイン....7

4-2 ネットワークの設定....7

4-3 発着信許可機能の利用(全体設定)....7

4-4 外線用携帯電話の登録と接続....8

5. 発着信許可番号の登録....11

6. 通話履歴の確認....12

7. システム管理機能....13

5-1 ログ取得....14

5-2 設定保存(バックアップ)/復元（リストア）....14

5-3 パスワードの変更....15

4-4 本製品の停止/再起動....15

4-5 本製品の初期化....15

8 システム状態表示....16

9. 主な製品仕様....17

7-1 ハードウエアの主な仕様....17

7-2 ソフトウエアの主な仕様....17

10 本製品に関するQ&A....18

8-1 本製品のご利用について....18

8-2 故障かな？と思った場合....19

11. 不応答発信時の動作について....20

参考. ソフトウェアライセンスについて....21

1. はじめに

本マニュアルには、本製品を設置する際の接続や設定方法について書かれています。ご利用の前に、ご一読ください。

※本マニュアル内の画面と実際の画面が異なる場合があります。その場合、実際の画面にて設定を行ってください。

1-1 本マニュアルについて

以下は、本マニュアル内で利用している記号の説明です。

⚠ ：**注意事項**です。操作の際はご注意ください。

🚫 ：**禁止事項**です。誤動作の原因になりますので絶対に行わないでください。

・本書および本製品の一部または全部を無断で転載、複製、改変することはできません。

・本書および本製品の内容は、改変・改良・その他の都合により予告無く変更することがあります。

・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

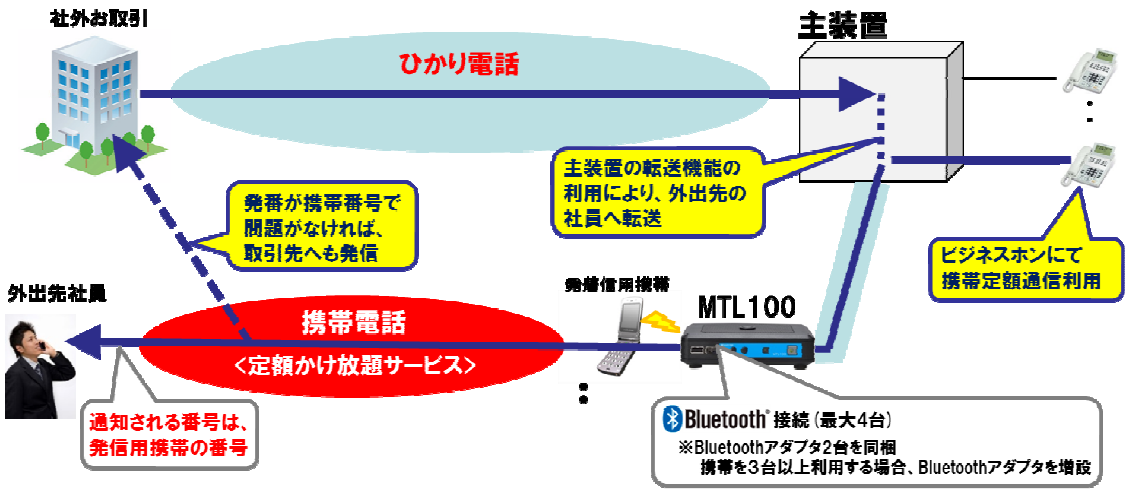
1-2 本製品の特長

本製品は、携帯電話をビジネスホン主装置（以下、主装置と称します）の外線として利用する機器です。

携帯電話を外線として利用することにより、特定携帯電話との無料通話や定額かけ放題サービスプランにより通話料金を一定料金にすることができます。

⚠ **本製品と Bluetooth 経由にて接続する携帯電話（外線用携帯電話）は、本製品専用としてご利用頂き他の Bluetooth 機器とは接続しないでください。また、本製品近傍へ設置してください。**

本製品と主装置は、LAN 経由で接続しますので、接続する主装置の機種や構成により、主装置本体への**『ユニット等』**の追加や、本製品との接続のための**『ハブ（ギガ対応）』**が必要な場合があります。本製品を設置する際に別途ご用意ください。



※本製品は Bluetooth アダプタ 2 台を試供品として同梱しています。3 台以上ご利用する場合、別途ご用意ください。

1-3 製品保証及びサポート範囲について

本製品の製品保証及びサポート対象範囲は、本マニュアルに記載されている機能及び設定内容です。

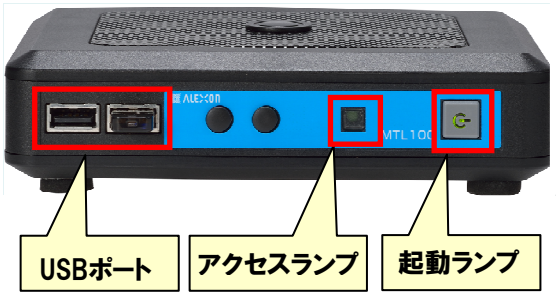
・本製品に同梱している Bluetooth アダプタ(アダプタ)は試供品です。**動作確認用のサンプル**としてご利用ください。
本製品同梱の Bluetooth アダプタの製品保証は、**Bluetooth アダプタの製品保証に準じ弊社では保証いたしかねます**。
なお、3ch 以上ご利用頂く場合、**別途 Bluetooth アダプタをご用意ください**。

・本製品に接続する**ビジネスホン主装置**及び**外線用携帯電話**の設定並びに動作は、保証及びサポート対象外です。
ビジネスホン主装置及び外線用携帯電話の取扱説明書等をご参照ください。

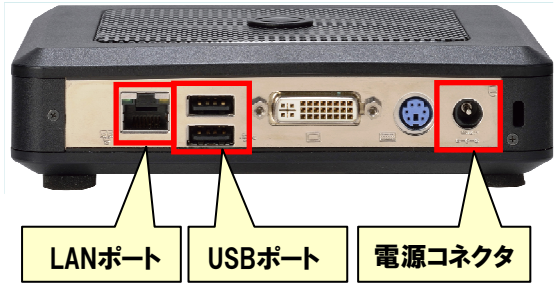
・本製品に同梱している Bluetooth アダプタは、サンプルであり弊社では製品保証いたしかねます。
・お客様の意志による製品保証及びサポート対象外の機器の利用/接続構成等による不具合に
ついては、本製品の製品保証及びサポートを受けられなくなる場合があります。
予めご了承のうえ、ご使用ください。

1-4 本体各部の名称と役割

前面



背面



名称	機能
USBポート	Bluetoothアダプタを挿します。本体前面と背面を合わせて合計4ポートあります。 **※本製品は、携帯電話充電のための認定を取得していません。本ポートにて携帯電話を充電しないでください。**
アクセスランプ	本製品がビジネスホン主装置とのデーター送受信を行っている時に点灯します。
起動ランプ	本製品が起動している時に点灯します。(本製品は電源を接続すると自動的に起動します。) **※本製品をシャットダウンする際は、必ず設定画面から実行してください。**
LANポート	4BRUのWANポートと接続してください。**※ONU～4BRUが直結の場合、ギガ対応ハブ経由で接続してください。**
電源コネクタ	本製品付属のACアダプタを接続してください。**※本製品付属以外のACアダプタは使用しないでください。**

本製品の設置について

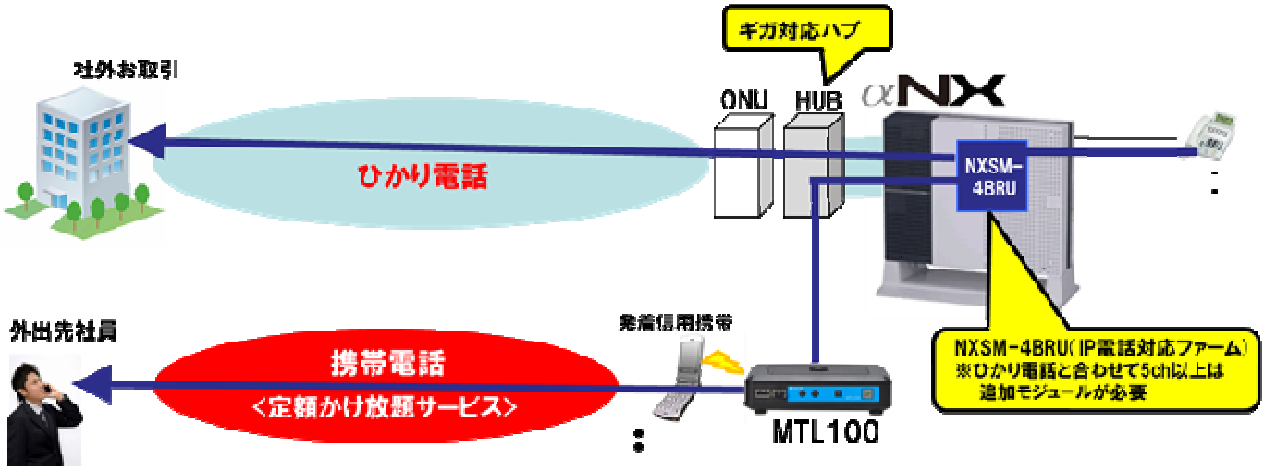
・本製品を横置設置する場合、本製品の上に物を置くなど放熱穴を塞がないでください。
・本製品を縦置設置する場合、本製品同梱の縦置スタンドを添付ネジにて固定し、安定する場所へ
設置し、本製品の左右へ空間を確保し、放熱穴を塞がないでください。
・本製品は、外線用携帯電話と Bluetooth 接続を行っているため、本製品を外線用携帯電話の
近傍へ設置してください。また、本製品をサーバラック等の金属性ケースに収納しないでください。

2. 接続構成と設定の概要（αNX-S/M シリーズの接続例）

本取扱説明書の記載範囲は、αNX（NXSM-4BRU）～本製品との接続・VoIPの設定、
本製品の設定、外線用携帯電話との接続(Bluetooth ペアリング)までです。
本製品を経由してのαNXの外線発着信（ラインボタンへの紐づけ、グルーピング）等については
記載しておりません。各機器の設置・設定の際は、別途取扱説明書等をご参照ください。

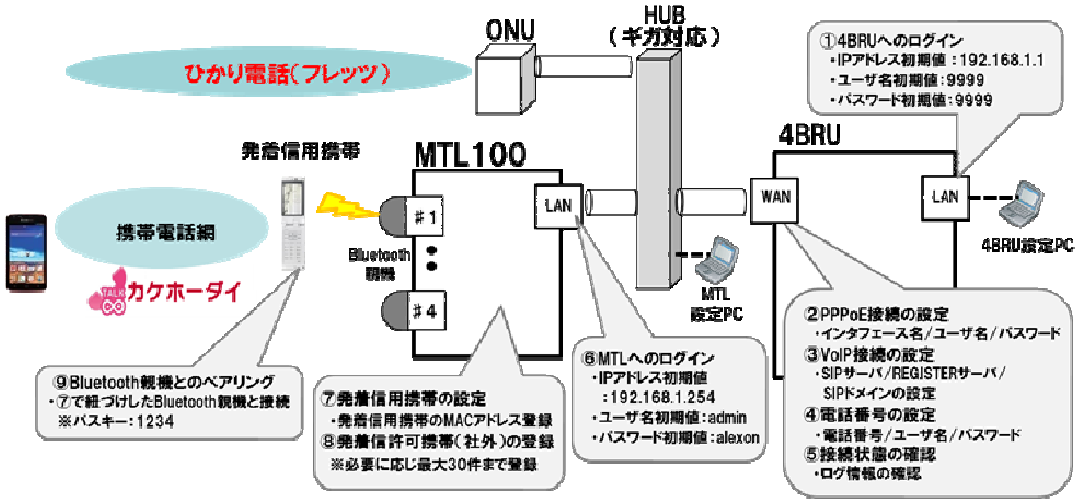
2-1 本取扱説明書の接続構成（モデル）

本取扱説明書における接続構成は、下図に示す通りαNX にて**『ひかり電話（直収）』**及び**『インターネット接続（PPPoE 接続）』**を利用しているαNX へ本製品を接続する構成です。ONU～4BRU 間には**『ギガ対応ハブ』**を設置し、ギガ対応ハブ経由で本製品を接続してください。ひかり電話と合わせて 5ch を超えてご利用する場合、増設モジュールをご用意ください。



2-2 設定の概要

本書での 4BRU 並びに本製品の設定の概要を以下に記します。



本製品の IP アドレスの初期値(本製品へのログイン時に利用)は 192.168.1.254 です。
NXSM-4BRU の WAN 側の IP アドレスに 192.168.1.254 が設定されている場合、本製品の
IP アドレスの初期値を変更してください。

3. 4BRU の設定（参考情報）

本製品と4BRUの接続に必要な設定を記します。

> ⚠ **本手順書での 4BRUのバージョンは、V 6.0.0.0 です。**
> **本製品と 4BRU を接続するための設定であり、ひかり電話並びにインターネット接続に関する設定については、4BRUの取扱説明書等を別途ご参照ください。**

3-1　4BRU へのログイン

①4BRU の LAN ポートへ設定用 PC を接続し、ブラウザにて**『http://4BRU の IP アドレス（初期値 192.168.1.1）』**を入力してログイン画面へ接続してください。

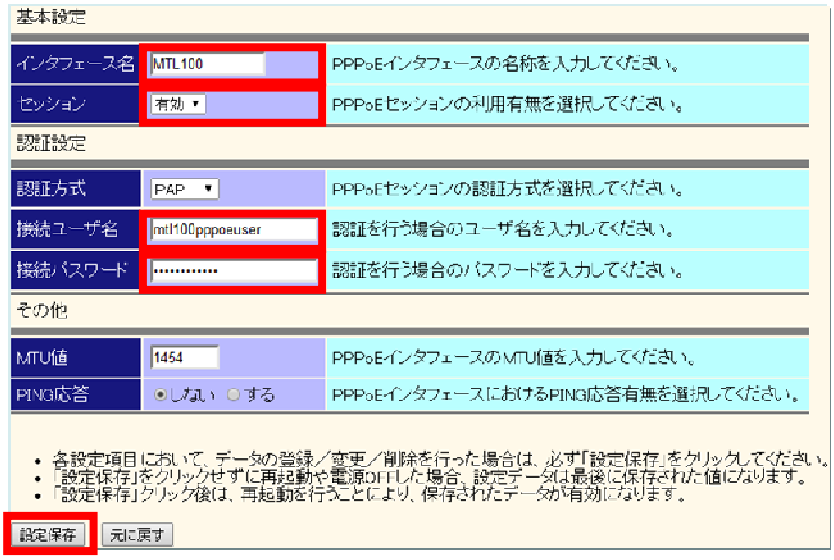
②ログイン画面にて**『工事者用アカウント（ユーザ名：9999　・パスワード：9999）』**でログインしてください。

3-2　PPPoE 接続の設定

③メインメニューの　ルータ設定　>>　WAN インターフェイス　をクリックし、PPPoE 設定にて**『WAN2』**を選択してください。

本例では、WAN1 が既にインターネット接続へ利用している と仮定し、WAN2 に設定します。

④WAN2を以下の通り設定し、**『設定保存』**をクリックしてください。



〈基本設定〉

- **インターフェース名：MTL100**
  ※その他任意の名称でも構いません。
- **セッション：有効**

〈認証設定〉

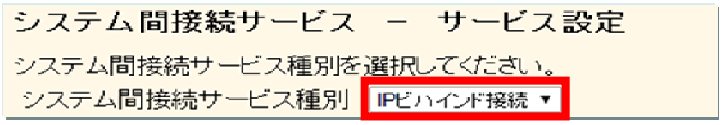
- **接続ユーザ名：mtl100pppoeuser**
- **接続パスワード：sMeTcLre100t**

※その他、指定の無い設定項目は
初期値のままで問題ありません。

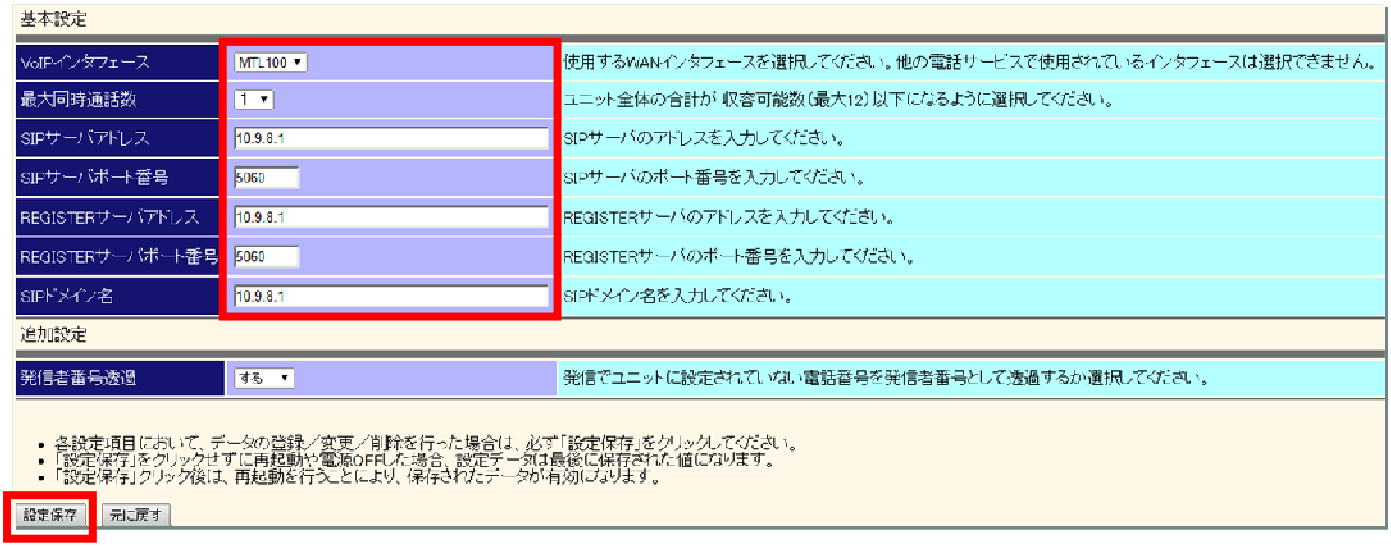
⑤設定保存をクリック後、WAN2 のインターフェース名が**『MTL100』**に、接続ユーザ名が**『mtl100pppoeuser』**に変更されたことを確認してください。

3-3 VoIP の設定

⑥メインメニューの **VoIP 設定** >>**システム間電話サービス**>>**サービス設定** にて、**『IP ビハインド接続』**を選択してください。



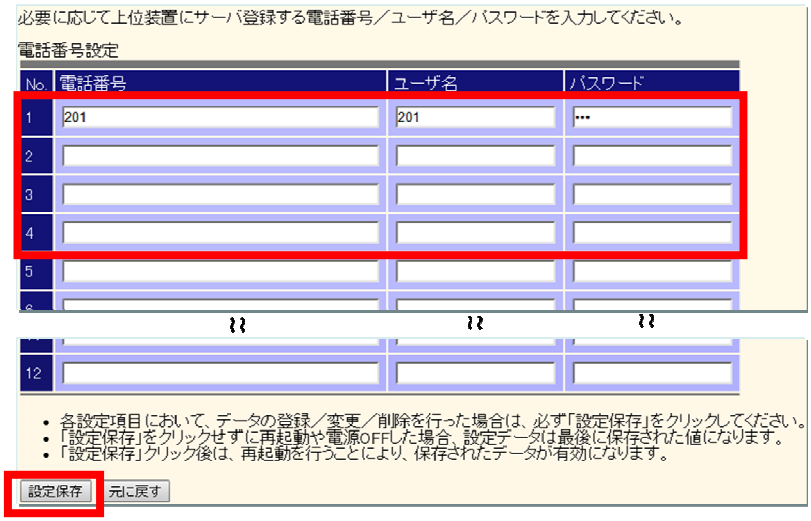
⑦基本設定にて、以下の通り設定し、**『設定保存』**をクリックしてください。



- **VoIP インターフェース：MTL100** **※④にて本製品との接続に設定した PPPoE 接続を選択**
- **最大同時通話数：利用可能な VoIP チャネル数から、ひかり電話で利用する分を引いたチャネル数**
  ※本例では、4BRU の最大収容 4ch に対し、ひかり電話を 3ch 使用している場合の設定
- **SIP サーバアドレス／ REGISTER サーバアドレス／ SIP ドメイン名：10.9.8.1**
- **SIP サーバポート番号／ REGISTER サーバポート番号：5060**

3-4 電話番号の設定

⑧メインメニューの **VoIP 設定** >>**システム間電話サービス**>>**電話番号設定** にて、必要な ch 数分の**『電話番号』**を右表の通り設定し、**『設定保存』**をクリックしてください。



左図では、1ch のみ設定した場合の設定例です。
本製品で利用する ch 数に応じ、最大 4ch まで設定してください。

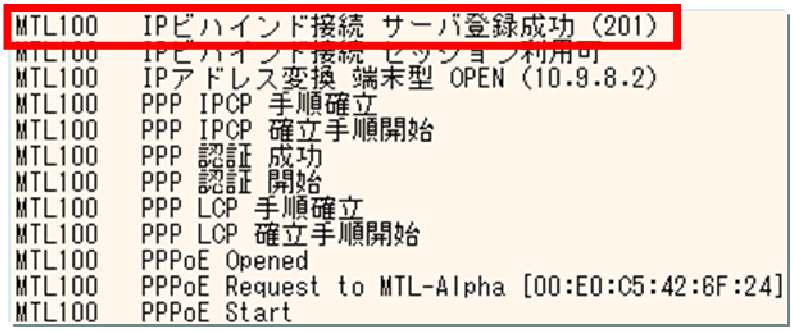
No	電話番号	ユーザ名	パスワード
1	201	201	201
2	202	202	202
3	203	203	203
4	204	204	204

3-5 接続状態の確認

⑨全ての設定完了後、本製品と 4BRU が接続させていることを確認し、4BRU のメインメニューの**再起動** にて 4BRU を**『再起動』**してください。

⑩4BRU 再起動後、メインメニュー.の**レポート出力**>>**ログ表示** にて、接続状態を確認してください。

以下の通り、4BRU～本製品間にて、**『IP ビハインド接続サーバ登録成功(20x)』**と表示されれば接続成功です。



※本例では、201 のみの設定ですが、201～204 の 4 番号を設定している場合、

IP ビハインド接続 サーバ登録成功(201) ～ (204) の全ての番号が表示されます。

<参考情報:ひかり電話接続状態のログ>

以下に、ひかり電話オフィスタイプ（フレッツ光ネクスト回線）でのログの例を示します。

ひかり電話オフィスタイプ(フレッツ 光ネクスト) *SIP* サーバ(*WAN*)登録成功(*03XXXXXXXX*)
ひかり電話オフィスタイプ(フレッツ 光ネクスト) セッション利用可
ひかり電話オフィスタイプ(フレッツ 光ネクスト) 自動設定成功
ひかり電話オフィスタイプ(フレッツ 光ネクスト) 追加情報取得成功
ひかり電話オフィスタイプ(フレッツ 光ネクスト) 追加情報取得開始
DHCPv4 クライアント 成功 *XXX.XXX.XXX.XXX*
OptionNo.1,3,51,53,54,58,59,90,120,125
DHCPv6 クライアント 開始
DHCPv4 クライアント 開始
ひかり電話オフィスタイプ(フレッツ 光ネクスト) 自動設定開始

<参考情報:プロバイダ接続状態のログ>

本製品への接続前にプロバイダへの接続が試みられると「認証エラー」となる事がありますが、
本製品との接続が成功した後は、問題無くプロバイダ接続も行えるようになります。
接続成功時のログの例を以下に示します。

＜*PPPoE* インターフェース名＞ 成功 *XXX.XXX.XXX.XXX XXX.XXX.XXX.XXXXXX.XXX.XXX*
＜*PPPoE* インターフェース名＞ 開始

4. 本製品の設定

4-1 本製品へのログイン

①設定用パソコンにて Web ブラウザを起動し、『http://192.168.1.254（初期値）』へアクセスしてください。

②ログイン画面にて、『ユーザ名：admin』及び『パスワード:alexon（初期値）』を入力し、『ログイン』クリックしてください。

・本製品へログインするブラウザソフトは、Internet Explorer をご利用ください。
・パスワードは、メインメニューの システム管理>>パスワードにて、変更することができます。
パスワードを忘れるとログインすることができなくなるため、パスワードの管理にはご注意ください。

4-2 ネットワークの設定

本製品の IP アドレスやゲートウェイ等を設定します。ネットワーク設定を変更した場合、本製品の再起動が必要になります。

①メインメニューの 『ネットワーク設定』をクリックし、必要な項目を設定してください。

＜各設定項目の説明＞

設定項目		設定する値	備考
LAN ポート	IP アドレス	LAN の IP アドレス	初期値：192.168.1.254
	ネットマスク	LAN のネットマスク	
	ゲートウェイ	デフォルトゲートウェイ	

4BRU の WAN 側に 192.168.1.254 が設定されている場合以外、変更は不要です。

②設定の変更が必要な場合、必要な設定後に『次へ』をクリックし、確認画面にて『設定保存』をクリックしてください。

③ネットワークの設定を変更した場合、本製品を再起動してください。

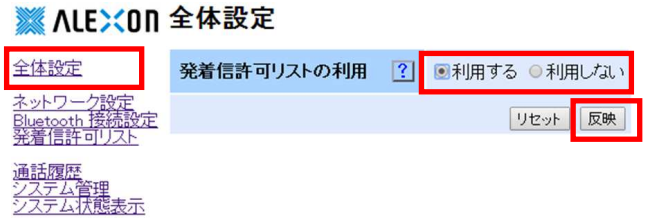
※メインメニューの『システム管理』をクリックし、システム管理画面にて停止/再起動の『システム再起動の実行』をクリック

本製品の IP アドレスを変更した場合、ログイン URL も変更になります。http:// (変更後の IP アドレス)
また、設定用パソコンの IP アドレスも、上記の IP アドレスと同じセグメントへ変更してください。

4-3 発着信許可機能の利用（全体設定）

本製品は、外線用携帯電話を経由した誤発信（例えば、携帯～固定電話）や迷惑電話の着信防止のため、発着信可能な番号を限定（最大 30 番号）することができます。初期値は『無効』となっており、全ての電話番号に対し発着信を許可します。本機能を有効にする場合、以下の手順を実施し、5 項の『発着信許可番号の登録』を参照ください。

①メインメニューの『全体設定』をクリックし、発着信許可リストの利用にて『利用する』を選択し『反映』をクリックしてください。



4-4 外線用携帯電話の登録と接続

本製品並びに本製品へ接続する Bluetooth 対応の携帯電話を設定します。**※本製品を再起動する必要はありません。**

> ⚠ **本書での携帯電話の設定(操作)手順は、『docomoP-01F』での設定方法の一例です。**
> **携帯電話の設定の詳細は、別途携帯電話付属の取扱説明書をご確認ください。**
> **本製品に接続する外線用携帯電話の各種機能は、製品保証及びサポート対象外です。**

①本製品へ取り付ける Bluetooth アダプタが、本製品の USB ポートに全て接続済みであることを確認してください。

※取り付けいていない Bluetooth アダプタがある場合、本製品の電源を切ってから取り付けし、再度電源を入れてください。

> ⚠ **本製品には Bluetooth アダプタを 2 個同梱しております。3ch 以上ご利用頂く場合、別途ご用意ください。**
> **また、本製品に同梱している Bluetooth アダプタはサンプルであり、弊社では製品保証いたしかねます。**

携帯電話側の設定-1

②携帯電話の**『Bluetooth アドレス』**を以下の手順にて確認してください。

・携帯本体左上**『メニューボタン』**→
本体メニューの**『8 本体設定』**→
『⑧外部接続』→『2 Bluetooth』→
『6 Bluetooth設定』→『8自局情報』

・自局情報の**『Bluetoothアドレス』**
本例では、**『DB:B1:2A:XX:YY:ZZ』**

※実際は16進数の値のみ表示

③本機メインメニューの**『Bluetooth 接続設定』**をクリックし、必要な項目を入力してください。

※Bluetooth アダプタを
1台接続した状態

> ⚠ **ここでは設定を入力するだけで『次へ』をクリックしないでください。⑤項にて実施してください。**

項目名	書式	設定する値	備考
携帯端末名称	任意の文字列	携帯の機種名や所有者等の『携帯端末の名称』を任意に登録	最大 32 文字まで
携帯アドレス	Mac アドレス	接続する携帯電話の『Bluetooth アドレス』を登録	②項参照
発信グループ	プルダウンリスト	各携帯の ch へ紐づけした番号を選択 ＃1⇒グループ 1～＃4⇒グループ 4	
着信グループ	プルダウンリスト	各携帯の ch へ紐づけした番号を選択 ＃1⇒グループ 1～＃4⇒グループ 4	

携帯電話側の設定-2

④携帯電話へ『**Bluetooth パスキー：1234**』を以下の手順で入力してください。

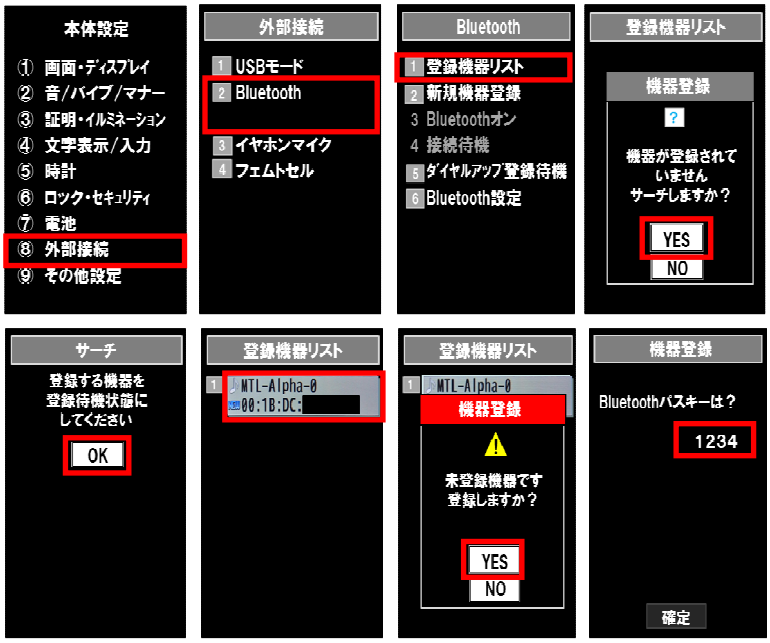
・携帯本体『**メニューボタン**』→『**8 本体設定**』→
『**⑧外部接続**』→『**2 Bluetooth**』→
『**1登録機器リスト**』を実行

・『**機器が登録されていません　サーチしますか?**』
が表示されたら『**YES**』→『**登録する機器を待機状態にしてください**』と表示されたら『**OK**』を実行

・登録機器リストに『**MTL-Alpha-＊**』の表示を確認
※Bluetoothアダプタを複数接続している場合、
接続しているアダプタ数(1～4)を表示。

・前述③項にて当該携帯電話に割り当てた番号
（本例では、『**MTL-Alpha-0**』）を選択→
『**未登録機器ですが登録しますか？**』が表示
されたら『**YES**』を実行

・『**Bluetooth パスキー入力画面**』にて『**1234**』を入力



⚠ **パスキー入力画面では、パスキー(1234)を入力するだけで、『確定』は後述⑥まで実行しないでください。**

⑤本機メインメニューの『**Bluetooth 接続設定**』の画面にて、『**次へ**』をクリックしてください。

携帯電話側の設定-3

⑥携帯電話の『**Bluetooth パスキー入力画面**』にて『**確定**』を実行してください。

⚠ **上記⑤にて『次へ』をクリック後、速やかに(1秒程度)実施してください。**

⑦上記⑥実行後、以下の画面に切り替わったら『**反映**』をクリックしてください。
反映確認画面が表示されたら『**OK**』をクリックしてください。

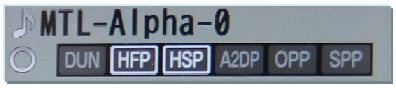
※Bluetooth アダプタを
1台接続した状態

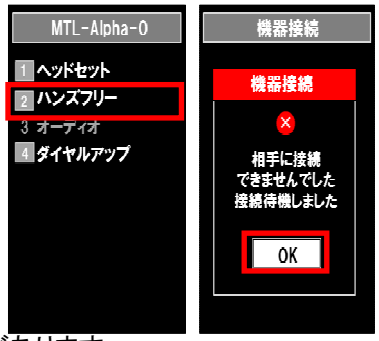
⚠ **Bluetooth 接続のための内部処理を実施するため、画面が切り替わるまで 30 秒程度かかります。**

携帯電話側の設定-4

⑧『MTL-Alpha-0』の画面にて『2 ハンズフリー』を選択してください。

⑨『相手に接続できませんでした 接続待機しました』 のメッセージが表示されたら『OK』を実行してください。 ペアリングが完了した場合、携帯電話の時計表示の左側に『Bluetooth マーク 』及び画面に以下が表示されます。





⑩『接続待機を設定しました 別のサービスにも接続しますか？』のメッセージが出る場合があります。
その際には、『NO』を実行してください。

> ⚠ 本機から携帯電話への接続処理は 1 分間隔で実施するため、時間がかかる場合があります。

⑪本機メインメニューの『**システム状態表示**』をクリックし、Bluetooth 接続状況が『Yes』になっていることを確認してください。

＜参考：4ch 設定した場合の設定例＞

> ⚠ Bluetooth 接続の処理を実施するタイミング等によっては、接続に失敗する場合があります。
> 接続に失敗した場合、③項からの設定を再度実施してください。

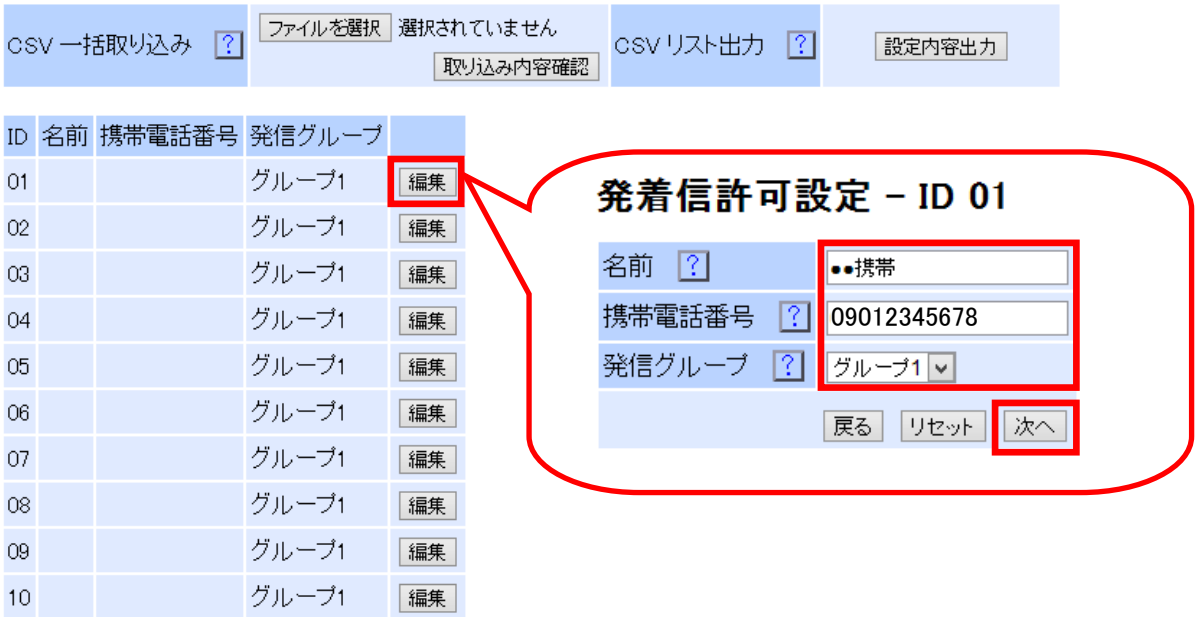
5. 発着信許可番号の登録

4-3 項にて、発着信許可機能（全体設定）を有効（利用する）にした場合、発着信許可番号の登録が必要になります。

電話番号は最大 30 番号登録できます。※本製品を再起動する必要はありません。

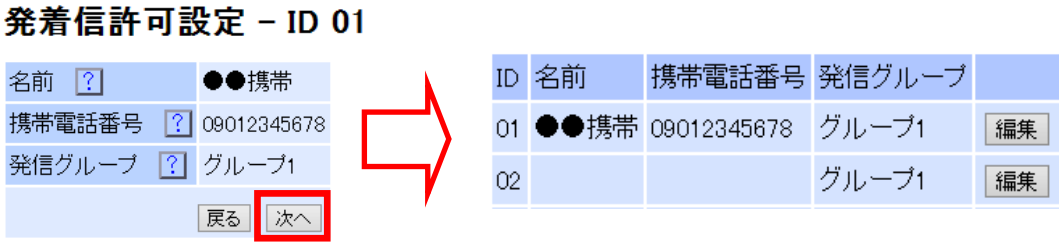
> **発着信許可機能を有効にした場合、発着信許可リストに登録されていない電話番号は発着信できません。**
>
> **・登録外番号への発信：発信者へ発信不可の音声ガイダンスを通知**
>
> **・登録外番号からの着信：一瞬呼出後に強制切断（発着信用携帯に着歴あり）**

①メインメニューの**『発着信許可リスト』**をクリックし、登録する ID の**『編集』**をクリックして必要項目を設定してください。



項目名	書式	設定する値	備考
名前	**任意の文字列**	**社員氏名や用途など分かりやすい名称を入力**	**最大 32 文字まで。**
携帯電話番号	**数字**	**発信先の電話番号**	
発信グループ	**プルダウンリスト**	**発信時に利用する携帯電話グループの選択**	

②必要な項目を設定後、**『次へ』**をクリックし、確認画面にて**『次へ』**をクリックしてください。



③登録した内容を修正・変更する場合、当該 ID 番号の**『編集』**をクリックしてください。

6. 通話履歴の確認

本製品は、本製品を経由した通話履歴を確認することができます。

メインメニューの**『通話履歴』**をクリックし、通話履歴を確認してください。

通話履歴

通話履歴										
AcctId	日時	発信者番号	dcontext channel dstchannel	App	Data	処理時間	通話時間	状態	uniqueID	追加情報
10	2014-01-07 11:52:51	"080[redacted]" <080[redacted]>	incoming Mobile/line1-c2eb SIP/204-0000001f	Hangup		0	0	BUSY	1389063171.35	
9	2014-01-07 11:50:54	201	outgoing SIP/201-00000017 Mobile/line1-d22b	Dial	Mobile/g1/080[redacted]	31	14	ANSWERED	1389063054.33	
8	2014-01-07 11:50:09	201	outgoing SIP/201-00000016 Mobile/line2-3b72	Dial	Mobile/g1/090[redacted]	8	0	NO ANSWER	1389063009.31	
7	2014-01-07 11:49:38	201	outgoing SIP/201-00000015 Mobile/line2-e7b6	Dial	Mobile/g1/090[redacted]	20	8	ANSWERED	1389062978.29	
6	2014-01-07 11:39:18	201	outgoing SIP/201-00000014 Mobile/line1-4e3e	Dial	Mobile/g1/080[redacted]	47	18	ANSWERED	1389062358.27	
5	2014-01-07 11:38:06	201	outgoing SIP/201-00000013 Mobile/line1-755b	Dial	Mobile/g1/080[redacted]	34	11	ANSWERED	1389062286.25	
4	2014-01-07 11:34:13	201	outgoing SIP/201-00000012 Mobile/line1-5a4b	Dial	Mobile/g1/080[redacted]	54	33	ANSWERED	1389062053.23	
3	2014-01-07 11:33:36	201	outgoing SIP/201-00000011 Mobile/line1-0ed1	Dial	Mobile/g1/090[redacted]	6	0	ANSWERED	1389062016.21	
2	2014-01-07 11:33:13	"080[redacted]" <080[redacted]>	incoming Mobile/line1-928e SIP/204-00000010	Hangup		0	0	BUSY	1389061993.12	
1	2014-01-07 11:32:40	"080[redacted]" <080[redacted]>	incoming Mobile/line1-e6f4 SIP/204-00000008	Hangup		1	0	BUSY	1389061960.3	

7. システム管理機能

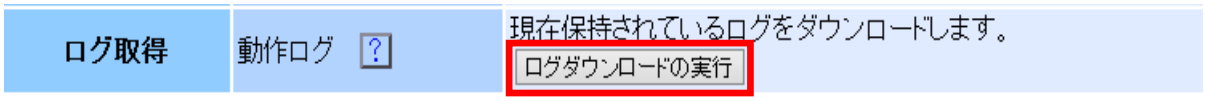
本製品の電源停止や再起動、設定保存・復元（リストア）及びパスワードの変更等のシステム管理を実施します。

①メインメニューの**『システム管理』**をクリックしてください。

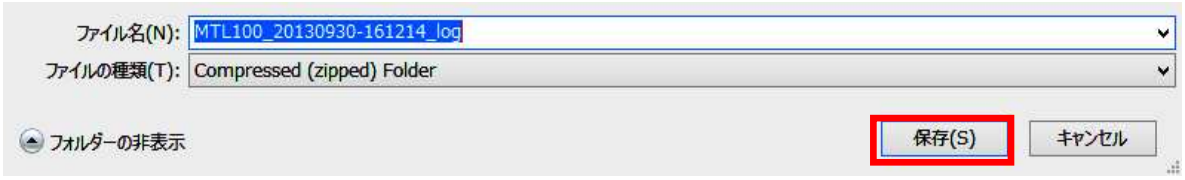
項目名		内容
システム情報	**システムバージョン**	本製品のシステムバージョンを表示
	DB バージョン	本製品の DB のバージョンを表示
ログ取得	**動作ログ**	**『ログダウンロードの実行』をクリックすることで、本製品の動作ログを PC へ保存**
設定保存 / 復元	**設定保存**	**『設定保存の実行』をクリックすることで、現在の設定のバックアップファイルを PC へ保存** **※本製品の故障時等に必要となるため、バックアップファイルを取得しておくことを強く推奨します。**
	設定復元	**『ファイルを選択』をクリックし、上記の設定保存にて保存したバックアップファイルを指定した後、** **『設定復元の実行』ボタンをクリックすることでバックアップファイルから設定を復元**
パスワード	**パスワード変更**	**『パスワード変更の実行』にて、本製品の設定画面へのログインパスワードの変更** **※パスワードを忘れるとログインすることができなくなるため、パスワードの管理にはご注意ください。**
停止 / 再起動	**停止**	**『システム停止の実行』ボタンをクリックすることで、本製品を停止（シャットダウン）**
	再起動	**『システム再起動の実行』ボタンをクリックすることで、本製品を再起動**
設定初期化	**初期化**	**「初期化の実行」ボタンをクリックすることで、設定情報とログを初期化** **※本製品の設定内容がリセットされるため、ご注意ください。**
ファームウェア	適用	本製品のファームウェア（ソフトウエア）の変更 **※弊社より依頼がある場合を除き、本処理を実施しないでください。**

7-1 ログ取得

①システム管理画面のログ取得にて、**『ログダウンロードの実行』**をクリックし、確認画面にて**『OK』**をクリックしてください。



②ダウンロードするログファイル名が表示されます。保存先(フォルダ)を指定して**『保存』**をクリックしてください。

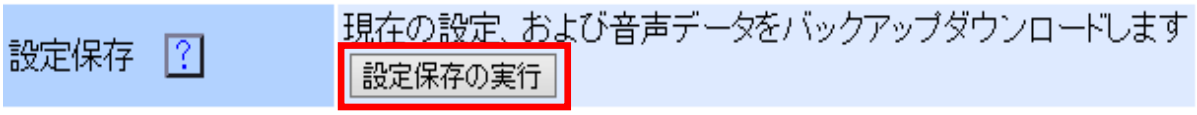


※ダウンロードするログファイル名は、実行日時(年・月・日・時・分・秒)が自動的に付与されます。

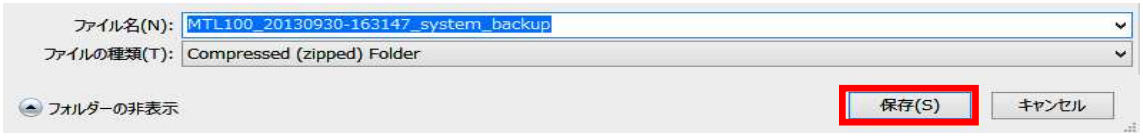
7-2 設定保存(バックアップ)/復元(リストア)

7-2-1 設定の保存(バックアップ)

①システム管理画面の設定保存/復元にて、**『設定保存の実行』**をクリックし、確認画面にて**『OK』**をクリックしてください。



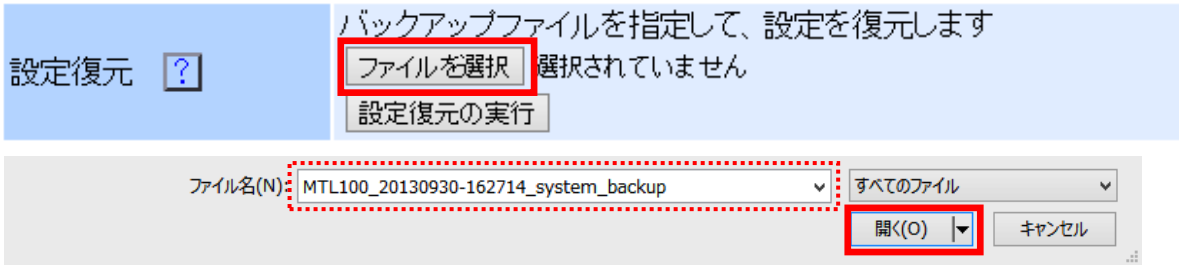
②ダウンロードするバックアップファイル名が表示されます。保存先(フォルダ)を指定して**『保存』**をクリックしてください。



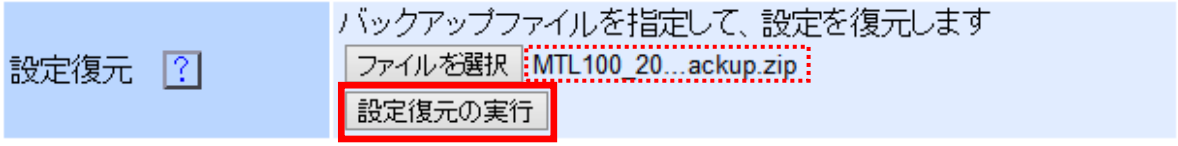
※ダウンロードするバックアップファイル名は、実行日時(年・月・日・時・分・秒)が自動的に付与されます。

7-2-2 設定の復元(リストア)

①システム管理画面の設定保存/復元にて**『ファイルの選択』**をクリックし、復元したいバックアップファイル(7-2-1 項にて作成)を選択して**『開く』**をクリックしてください。

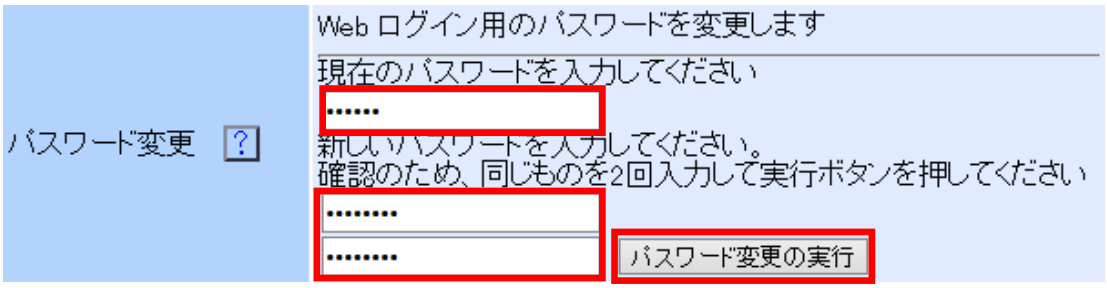


②バックアップファイルが選択されたことを確認し、**『設定復元の実行』**をクリックし、確認画面にて**『OK』**をクリックしてください。



7-3 パスワードの変更

①システム管理画面のパスワード変更にて、**『上段：現在のパスワード（初期値 alexon）』**、2 段目/3 段目に変更したい**『新しいパスワード』**を入力し、**『パスワード変更の実行』**をクリックしてください。



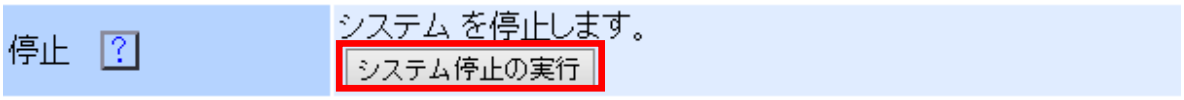
②確認画面にて**『OK』**をクリックしてください。

セキュリティ対策の観点からパスワードを変更することを推奨いたしますが、パスワードを忘れると本製品へログインすることができなくなるため、パスワードの管理にはご注意ください。

7-4 本製品の停止/再起動

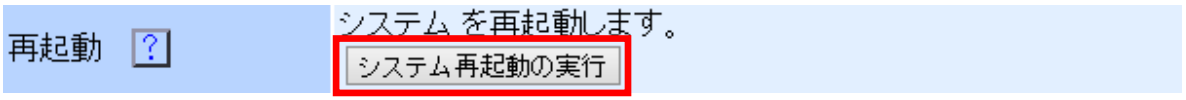
7-4-1 本製品の停止（シャットダウン）

①本製品を停止（シャットダウン）する場合、システム管理画面の停止/再起動の停止にて**『システム停止の実行』**をクリックし、確認画面にて**『OK』**をクリックしてください。



7-4-2 本製品の再起動

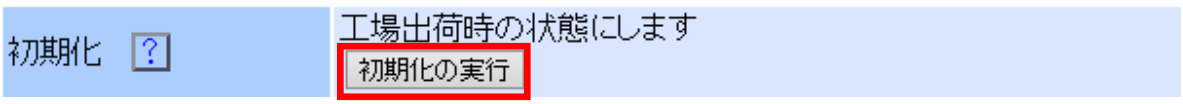
①本製品を再起動する場合、システム管理画面の停止/再起動の再起動にて**『システム再起動の実行』**をクリックし、確認画面にて**『OK』**をクリックしてください。



本製品の停止及び再起動は本設定画面にて実行し、製品本体の起動ボタンの操作並びに電源（本体のACアダプタコネクタ、ACアダプタのコンセント）を直接切断しないでください。

7-5 本製品の初期化

①本製品の初期化が必要な場合、システム管理画面の初期化にて、**『初期化の実行』**をクリックし、確認画面にて**『OK』**をクリックしてください。



初期化の実行を行うと、本製品の設定内容がリセットされてしまいます。初期化を行う場合、設定内容のバックアップを取得する等、運用にはご注意ください。

8 システム状態表示

本製品の動作状態を表示します。メインメニューの『**システム状態表示**』をクリックしてください。

項目名	内容
チャネル利用状況	本製品経由での通話の利用状況を表示
Bluetooth 接続状況	**本製品と外線用 Bluetooth 対応携帯の接続状況を表示** **「接続済み」が Yes になっていれば、Bluetooth 経由にて発着信可能な状態**
メモリ使用状況	本製品のメモリの使用状況を表示
ストレージ使用状況	本製品のストレージの使用状況を表示
起動時間	本製品のシステム全体の起動時間と、PBX プロセスの起動時間を表示

9. 主な製品仕様

9-1 ハードウエアの主な仕様

主なハードウエア仕様を以下に記します。

項目		仕様
メインボード	CPU/チップセット	VIA Eden ULV / VIA VX855
	メインメモリ(RAM)	SO-DIMM
	ストレージ	CF(HDD レス)
インターフェース	LAN ポート	1 ポート(RJ-45, 10/100/1000 Base-T)
	USB ポート	4 ポート(前面 2 ポート、背面 2 ポート)
表示	起動ランプ	起動ボタン兼用
	アクセスランプ	LAN アクセスランプ
電源	入力電源	AC100V 50Hz/60Hz (付属 AC アダプタ利用)
	消費電力	最大約 36W
	電源ボタン	1 個
環境条件	温度条件	0℃ ～ 35℃(FAN レス)
	湿度条件	20%～80%(結露無きこと)
本体サイズ・重量	サイズ	156mm(W) ×122mm(D)×36 ㎜(H)
	重量	約 600g
同梱物		本体、AC アダプタ、縦置スタンド、縦置スタンド固定ネジ

9-2 ソフトウエアの主な仕様

主なソフトウエア仕様を以下に記します。

項目		仕様
呼制御プロトコル		SIP
収容回線数	VoIP(SIP)	4ch(電話番号 201～204)
	Bluetooth	4ch
発着信許可電話番号		30 番号
発着信グループ	発信グループ	4 グループ
	着信グループ	4 グループ、全グループ一斉
その他機能	ログ機能	ログファイルの作成
	バックアップ/リストア機能	設定のバックアップファイルの作成、バックアップファイルからの復元
	パスワード変更	ログインパスワードの変更
	初期化	本製品の初期化
	ステータス表示	通話状態、携帯接続状態、各種状態の表示

10. 本製品に関するQ&A：故障かな？と思った場合

10-1 本製品のご利用について

本製品の利用方法について、以下をご確認ください。

	項目	内容
1	本製品の利用には何が必要ですか？	αNXシリーズとの接続のためには、NXSM-4BRUが必要です。 ・αNXシリーズにて、ひかり電話またはプロバイダ接続している場合、NXSM-4BRUが実装済みです。既設のNXSM-4BRUと共有することができます。ただし、ひかり電話と合わせて5chを超える場合、NXSM-4BRUへの増設モジュールが必要です。 ・本製品はNXSN-4BRUのWANポートへ接続する必要があるため、ONU～NXSN-4BRU間にギガ対応のHUBを設置し、本製品とNXSN-4BRUを接続してください。
		本製品には、2台のBluetoothアダプタを同梱しておりますが、3ch以上ご利用の場合にはBluetoothアダプタを別途ご用意ください。（2台まで追加し、最大4台ご利用することができます。）
		外線用携帯電話には、Bluetooth接続（ハンズフリープロファイル対応）可能な弊社指定の携帯電話を必要数ご用意ください。また、無料通話のためには無料通話対応サービスプランにご契約されていることを確認してください。
2	発着信用携帯はどの機種が良いですか？	本製品での動作確認済み携帯電話をご用意ください。
3	本製品はどこに設置すれば良いですか？	本製品は、Bluetooth接続さている外線用携帯電話の近傍へ設置してください。 また、金属性のラックの中には設置しないでください。
4	本製品は縦置きできますか？	本製品に同梱している、縦置きスタンドを固定ネジにて固定することで縦置き可能です。 なお、縦置きの際は、電源ケーブルやLANケーブルの取り回しにご注意ください。
5	主装置の設定はどうすれば良いですが？	本書には、本製品～NXSM-4BRUを接続するための基本的な設定(PPPoE接続/VoIP&電話番号)が記載されています。αNX側の設定（ラインボタンへの紐づけ、グルーピング）等については、αNXの取扱説明書を別途ご確認ください。
6	外線用携帯電話の設定については？	本書には1機種のみ設定例を記載しております。設定例以外の携帯電話を利用される場合は該当機種の取扱説明書を別途ご確認ください。

10-2 故障かな？と思った場合

本製品の利用中に異常動作を行った場合等、以下をご確認ください。

	項目	内容
1	本製品が起動しない	ACアダプタが本製品へ接続されていることを確認してください。 また、ACアダプタのコンセントが接続され、通電していることを確認してください。 **※本製品同梱以外のACアダプタを接続しないでください。**
2	本製品が熱くなる	本製品はFANレスで設計されているため、ご利用中には本製品が熱くなる場合があります。 横置設置の場合、本製品の上に物を置かないでください。また、縦置き設置の場合は左右に隙間を確保し、本製品の通気孔を塞がないでください。
3	本製品経由で発着信できない	本製品が正しく起動していることを確認してください。 本製品と発着信用携帯が正しく接続されていることを確認してください。 発着信用携帯がペアリングされているか確認してください。 本製品がビジネスホン主装置と正しく接続されていることを確認してください。 発着信許可機能が有効かつ発着信先が登録されていることを確認してください。
4	特定の番号以外に発着信できない	発着信許可機能が有効かつ発着信先が登録されていることを確認してください。
5	発信先が不応答の後、再ダイヤルをしても発信できない	docomo 携帯電話の仕様により、発信先が不応答の場合、同一番号に対する再発信を一定期間（～ 3 分）規制する機種があります。詳細は 11 項をご確認ください。

上記にて状態が回復しない場合、その他本製品の動作不具合が発生した場合、お買い上げの販売店様へご連絡ください。

11. 不応答発信時の動作について

電気通信端末機器技術基準により電話の発信において、発信先が不応答の場合、同一番号に対する自動再発信を一定期間（～ 3 分）規制されていますので、端末の仕様により同じ番号への発信ができないことがあります。

全ての端末において、本再発信記載が対応している訳ではありません。

ドコモ参考資料：http://www.nttdocomo.co.jp/binary/pdf/corporate/technology/document/foma/foma8.pdf

※51 ページ「9.再発信規制について」からの抜粋

①同一電話番号に対する不応答発信に対する回数と再発信規制時間は以下の表の通りです。

連続した不応答発信の回数	1～3 回	4～9 回	10 回
再発信禁止時間	1 分	3 分	ブラックリスト登録

※本規制を解除するには、当該電話番号の応答、または Bluetooth 接続された外線用携帯電話を再起動（電源の OFF⇒ON）してください。カウントがリセットされます。

②ブラックリストに登録された場合、当該番号への発信が不可となります。

※ブラックリストを解除するには、Bluetooth 接続された外線用携帯電話を再起動してください。

■本製品のサポート・お問い合わせ

本製品に関するサポート（設置前～設置/設定に関するお問い合わせ、運用時におけるお問い合わせ、機器の故障）は、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

⇒お問い合わせ先

アレクソン　サポートセンター　：　072-780-1101

・受付時間：月曜～金曜　9:20～12:00　13:00～17:00

※祝祭日、年末年始、弊社休業日を除く

参考. ソフトウェアライセンスについて

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program).
Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software

through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program
`Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do
this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.
Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany

the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY

AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

LICENSE ISSUES
==========
The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

```
/* ====================================================================
 * Copyright (c) 1998-2003 The OpenSSL Project.  All rights reserved.
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions
 are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer
in the documentation and/or other materials provided with the
 * distribution.
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
 *    "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
 * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without
prior written permission. For written permission,
 * please contact openssl-core@openssl.org.
 * 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission
of the OpenSSL Project.
 * 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
 *    "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
THE IMPLIED
 * WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS
 * CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED
```

TO,
 * PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY
 * OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS
 *SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
 * ==
 * This product includes cryptographic software written by Eric Young * (eay@cryptsoft.com).
 * This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
 */

 Original SSLeay License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.
 *
 * This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
 * The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
 * This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4,
 * RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson
 * (tjh@cryptsoft.com).
 * Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
 * If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
 * This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
 * 1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the
 *   distribution.
 * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
 *   "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
 *   The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
 * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
 *   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
 *
 * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES
 * OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY
 * DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE
 * GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
 * CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF
 * THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
 *
 * The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution
 * licence
 * [including the GNU Public Licence.]
 */

Copyright (C) 1994-2004 The XFree86 Project, Inc. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE XFREE86 PROJECT BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE

OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of the XFree86 Project shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from the XFree86 Project.

■本製品に含まれる GPL/LGPL のソフトウエアについて

1)GPL/LGPL ライセンスのソフトウエアについて
本製品には GNU General Public License (GPL) または GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウエアが含まれています。ソースコードの入手をご希望の方は、配布に必要な実費をご負担いただくことを条件に、ソースコードの複製物を提供致します。ご希望の方は、製品型番、シリアル番号、販売店名をご確認の上、弊社までご連絡ください。

なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えいたしかねますので、予めご了承ください。

2)第三者ソフトウエアについて
本製品には、次のライセンスに基づくソフトウエアが含まれています。これらソフトウエアの使用許諾条件については、本文書の当該条項をご参照ください。
・OpenSSL License (OpenSSL.txt)
・XFree86 License (XFree86.txt)

3)免責事項について
当社は、本ソフトウエアの不稼動、稼動不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他保証を負わないものとします。また、当社は、本ソフトウエアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も負わないものとします。